



いちごぐみたより 2月



尚徳福祉会 坂戸保育園

2019. 2

園庭の梅の花がほころび、寒いと思っていても春がそこまで、やってきていますね。1月は年末年始のお休みの間、家族に囲まれてゆっくりと過ごせたようで、体調もよく元気に過ごしていました。

4月に入園したばかりの頃は、散歩に出掛けるとバギーに揺られて眠っていたのに、今では保育者と手を繋いでトコトコ歩いて、「ブーブー」「わんわん」とお話も出来るようになりました。

暖かくなってきたら春を探しに散歩へと出かけたいと思っています。



自分で出来たよ

毎日のお着替えや靴を履く時に自分でやろうとする気持ちが芽生えてきました。

ほんのちょっとだけお手伝いをするのですが自分でズボンが脱げた時の誇らしげな顔や「やったあ（できた）」と声を上げた嬉しそうな表情をいつもほほえましく見えています。子どもが自分からやりたいと思う気持ちが一番大きく成長に繋がります。そんな子どもの気持ちを大切に生活していきたいと思っています。

先日はお忙しい中、クラス懇談会に参加していただき、ありがとうございました。園での様子をお伝え出来たこと、またご家庭での様子を知ることができ、有意義な時間となりました。

いちご組での生活は残り少なくなりましたが、楽しく笑顔いっぱいな日々を過ごしていきたいと思います。

節分の日にはいちご組でも豆まきをしてみました。豆ではなくチラシを丸めて壁に貼った鬼にぶつけました。みんな「にに～（おに）」「ととお～（そと）」と鬼めがけて張り切って投げていました。



テラスでは

暖かい日は午後にもテラスに出て遊んでいます。コンビカーに乗ったりボールを追いかけたり、園庭を覗いてお兄さんお姉さんを探すのも楽しみです。この頃は追いかけてこも出来るようになり「僕逃げるよ～早くつかまえて～」といたずらっぽ目をして大人を誘っています。

テラスにはタイヤが沢山あり、並べて通路を作ったりするほかに、重ねて中に入ったりして遊んでいます。よじ登ったり、どこに足をかけようか迷ったり、手と足、全身を使ってチャレンジしています。危なっかしくてつい手を出したくなりますが、子どもは他の子の動きをしっかりと見ていたり、自分にできる範囲を知っているので、見守るようにしています。子どもの自ら育つ力にはいつも感心させられます。

